

一般社団法人日本生産管理学会 学会案内

一般社団法人日本生産管理学会は、『経営活動の一環としての生産管理論の研究および教育ならびに生産管理実務の指導・改善の発展を図るとともに、会員相互および関連学会、会員との連絡、研修の場とし、もって学術文化の発展に寄与する』ことを目的として、平成6年4月1日に創設されました（日本学術会議協力学術研究団体の一員）。

また、今後の社会貢献や開かれた学会運営を目指して、平成25年3月1日に一般社団法人として再出発をいたしました。

本学会は、前述の目的を達成するために次の事業を行っております。

- ① 毎年学術機関誌等の発行、講演会等の開催など生産管理学に関わる普及・啓蒙事業
- ② 研究発表大会の開催、研究活動の助成などによる生産管理学に関わる学術調査・研究事業（全国大会を年2回、国際大会を2年に1回開催）
- ③ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

当学会の特徴

現在、下記のような目標に基づいて、活発な研究活動を行っており、ダイナミックで積極的な活動を推進するため、テーマ別に全国規模の研究部会を設置しております。会員は、複数の研究部会に所属することができますので、奮ってご参加ください。

- ① 経営学の一環としての生産管理の理論と実践の融合を目指す
- ② 最も進んだ実践の理論化とその普遍化に努力する
- ③ これからの理想的理論を構築し実践に結び付ける
- ④ 研究者・教育者・実務者が相互に交流研鑽する
- ⑤ 海外学会・他学会の研究者との交流を深める
- ⑥ 経営管理技術開発を促し、その標準化、普及に努める
- ⑦ 若手・女性の生産管理研究者・教育者・実務者の養成に努力する
- ⑧ 各地域に密着したサービスを提供する
- ⑨ 充実した研究部会活動を展開する
- ⑩ 生産管理に関する最新技術を紹介する
- ⑪ 第一次・第三次産業に生産管理を普及させる

また、未入会の皆様は、このような時代に生産管理に関係する研究者・教育者・実務家として社会に貢献するため、是非この機会に会員としてご入会いただき、専門能力を維持・向上し、発揮いただくようおすすめいたします。

支部・研究会・機関誌

支部は、北海道・東北支部、関東支部、中部支部、関西支部、中国・四国支部、九州支部があります。前述の全国規模の研究部会のほか、支部単位の研究会を設置しております。

機関誌は、「生産管理」を年2回発行し、International Journal of Japan Society for Production Management を少なくとも年1回発行しております。